

■ 補修部品

- シールド
- シールドベースセット
- コンフォートライナー
- チークパッドセット
- トップベンチレーション
- リアベンチレーション

補修部品／オプション品の詳細についてはワイズギアホームページをご覧ください。

URL <https://www.ysgear.co.jp/mc/helmet/>



取扱説明書



●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア  **0120-819049**

オープン時間 月曜～金曜(祝日、弊社所定の休日除く)
9:30～12:00 13:00～17:00
◎音声アナウンスに沿って担当部署をお選びください。

〒430-0946 静岡県浜松市中央区元城町115-10 元城町共同ビル FAX 053-488-5630

輸入元 ヤマハ発動機株式会社 カスタマーエクスペリエンス事業部 SCM部
静岡県袋井市久能3001-8

製造元 HJC VINA LIMITED COMPANYY
Khai Quang Industrial Zone, Khai Quang Ward, Vinh Yen City, Vinh Phuc Province, Vietnam
2025.06 Made in Vietnam

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、ヤマハヘルメットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、安全に快適なバイクライフをお楽しみください。また、本製品独自の機能や取扱方法がありますので、ヘルメットの取り扱いに慣れた方も必ずお読みください。読み終わったあとは、必ず保管してください。

この商品は日本国内の規格に適合しています。

ご使用になる前に必ずお読みください	2
ヘルメットの保護能力には限度があります	2
必ず守っていただきたい注意事項	3,4
色付きシールド使用上の注意事項	4
ヘルメットボックスに収納するときの注意	4
ヘルメットの保管について	4
内装取り扱いの注意事項	5
つや消し塗装の汚れの取りかた	5
推奨ヘルメットケミカル剤一覧表	5

シールドの取り扱い	7
■ シールドの開閉	7
■ シールドの取り外し	8
■ シールドの取り付け	9

あごひもの取り扱い	10
■ あごひもの留めかた	10
■ あごひもの外しかたと調節	10

ベンチレーションの取り扱い	11
■ トップベンチレーションの開閉方法	11

内装の取り扱い	11
■ 内装の取り外し	11
■ 内装の取り付け	13
■ 内装の互換性について	15

補修部品の交換	16
■ ベンチレーションの交換	16
■ シールドベースの交換	18

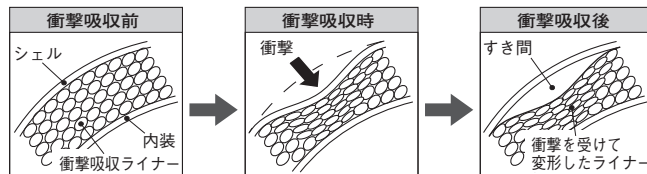
補修部品/オプション品	巻末
-------------	----

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注意	取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要点	正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

警告 ヘルメットの保護能力には限度があります

- ヤマハヘルメットは国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- ヘルメットは購入後3年で交換してください。正常に使用しても目に見えない部品の劣化が進み、性能は低下していきます。購入後3年を過ぎたヘルメットは、衝撃を受けたときに性能を充分発揮できない恐れがあります。早めの交換をお勧めします。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なけがにつながる恐れがあります。



- 頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。また、小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。

警告 必ず守っていただきたい注意事項

- 使用前点検を必ず実施してください。
シールド、内装等の構成部品が正しく取り付けられていないと、走行中にシールドが外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。シールド、内装等が確実に固定されているか確認してから使用してください。
- あごひもは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。
あごひもの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なけがにつながる恐れがあります。
- マイクロバックルとストラップラダーに異物等が混入した状態で使用しないでください。
- 汚れや傷の付いたシールドで走行しないでください。
視野の妨げとなり、大変危険です。汚れている場合は汚れを除去し、傷が付いている場合は交換してください。
- 走行中の環境変化に注意してください。
突然の雨や急激な温度変化によってシールドがくもり、視界不良で思わぬ事故につながる恐れがあります。環境変化が予測される時は、走行前にシールドの開度を調節し、速度を落として走行してください。
- ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。
運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメットに傷が付く恐れがあります。
- ヘルメット塗装面・衝撃吸収ライナー・パーツ類に塗料・接着剤・シンナー・ガソリン等を付けないでください。また、直射日光のあたる車内や、暖房機の近くなど高温になる場所に長時間放置しないでください。
シェルや衝撃吸収ライナーが変形し、衝撃吸収力が著しく低下する恐れがあります。
- シールド可動部（ヘルメットメカ機構部等含む）に金属製品用潤滑剤やクリーナーを使用しないでください。
素材が侵され破損する恐れがあります。
- 改造は絶対にしないでください。
ヘルメットに穴を空けたり、削ったりすると性能が損なわれ、十分に保護能力が発揮できない恐れがあります。

警告 色付きシールド使用上の注意事項

- トンネル及び夜間走行の注意
スモーク・オレンジ・ミラー加工等を施したシールドでトンネルや夜間を走行するときは、シールドを上げるか標準のシールドに交換してください。視認力の低下を招き、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意 必ず守っていただきたい注意事項

- ヘルメットやシールドの清掃は当社推奨ケミカル剤（次ページ表参照）を使用するか、薄めた中性洗剤を使用してください。熱湯（50℃以上）・塩水・ベンジン・シンナー・ガソリン等を使用すると、ヘルメットやシールドが損傷する恐れがあります。拭き取るときは、柔らかい布を使用してください。ヘルメットやシールドを傷付ける恐れがあります。
- ヘルメットを持ち運ぶときは、外装かあごひもを持ってください。
内装やシールドを持つと、ヘルメットが落下する恐れがあります。

注意 ヘルメットボックスに収納するときの注意

ヘルメットボックスにヘルメットを収納するときは、下に押し付けたり中で回転させたりしないでください。部品が外れる恐れがあります。

※ヘルメットに取り付けてある部品は、規格上（JIS規格／SG規格）転倒等の衝撃を受けたときに容易に外れるように、両面テープ等で固定されています。

注意 ヘルメットの保管について

- ヘルメットを直射光線の当たる場所に保管しないでください。直射光線により、塗装が変色する場合があります。

注意 内装取り扱いの注意事項

雨天走行や汗等で内装が汚れたときは、内装を取り外して洗うことができます。内装を洗うときは、中性洗剤を使用し、ぬるま湯でやさしく押し洗いしてください。洗ったあとは真水で十分にすすぎます。洗い上がったら、風通しのよい場所で陰干しします。乾燥させるためにヘアドライヤーなどは使わないでください。

要点 つや消し塗装の汚れの取りかた

当社推奨ケミカル剤（マットカラー専用クリーナー）を使用するか、薄めた中性洗剤を使用して洗い流してください。

推奨ヘルメットケミカル剤一覧表^{*1}

部位	商品名称	品番	効果
シェル 外装 小部品	ヘルメットクリーナー &ワックス	90793-40092	つや有り塗装などの一般的な塗装用のクリーナーです。シェルや外装小部品の汚れ、水あか、小キズを除去し、光沢を与えます。
	マットカラー専用 クリーナー 67ml	90793-40111	つや消し塗装専用クリーナーです。指紋、油脂汚れを簡単に除去でき、撥水効果もあります。
	マットカラー専用 クリーナー 200ml	90793-40112	
内装	ヘルメット消臭剤	90793-40095	除菌、消臭し、悪臭の発生を防ぎます。
シールド ※2	ヘルメットシールド 撥水剤	90793-40090	雨天時のシールド面の水滴を強力にはじきます。
	ヘルメットシールド くもり止め	90793-40091	シールド内側のくもりを防ぎ、クリアな視界を確保します。
	ヘルメットシールド クリーナー	90793-40094	シールドの汚れを落とし、視界をクリアに保ちます。
	シールドケミカル セット	90793-40099	ヘルメットシールド撥水剤、ヘルメットシールドくもり止め、ヘルメットシールドクリーナーを3本セットにしたお得品。
	虫とりクリーナー	90793-40104	シールド等に付着した虫の汚れを素早く除去し、クリアな視界を確保します。

※1：ケミカル剤の一覧表は2025年6月現在のものです。これらの商品は予告なく変更、販売終了されることがあります。最新情報はワイスギアホームページを参照ください。

※2：ミラーシールドのお手入れにケミカル剤（当社製品を含む）を使用した場合、ミラーコーティングがはれる恐れがあるため、使用できません。水または薄めた中性洗剤で洗ってください。



SGマークはSafe Goods（安全な製品）の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。



国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める技術水準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク（Product Safety=製品安全の略号）を表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本ヘルメット工業会

SGマークの被害者救済制度について

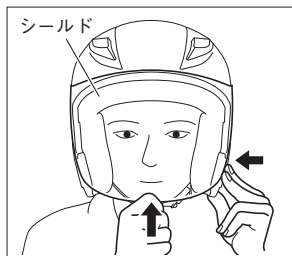
ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途（レース・サーカス等）に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。**製品の欠陥による事故がおきた場合は**

- 1.製品の欠陥による事故がおきたら、すぐに一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL (03)-5808-3303
- 2.「事故発生届」又は「賠償措置実施請求書」を提出してください。（原則として事故発生より60日以内）
- 3.事故の状況を何うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
- 4.以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

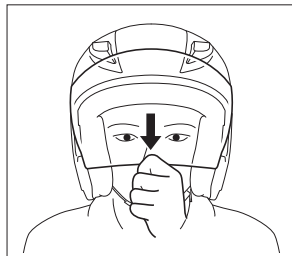
SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2階
一般財団法人製品安全協会 TEL (03)-5808-3303

■ シールドの開閉



- シールドの開けかた
片手でヘルメットを軽く押さえながら、もう片方の手でシールドを押し上げます。

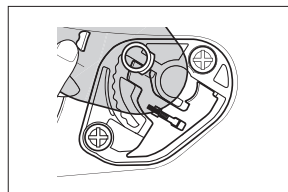
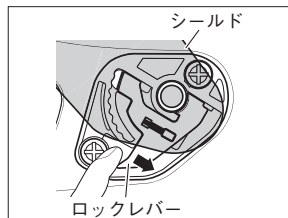


- シールドの閉めかた
シールドの中央下部を持ち、「カチッ」と音がするまで下げます。

注意

走行中はシールドを閉めてください。不意な飛び石などで、けがをすることがあります。

■ シールドの取り外し



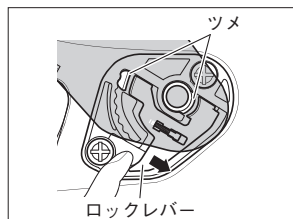
シールドは取り外して清掃することができます。

- ①シールドを全開位置まで開きます。
- ②ロックレバーを後側にスライドさせたまま保持します。
- ③シールドを垂直に持ち上げて取り外します。反対側も同じように取り外します。

注意

ロックレバーが解除されていない状態で無理にシールドを取り外すと破損する恐れがあります。ロックレバーはいっぱいまでスライドさせてください。

■ シールドの取り付け



①ロックレバーを後側にスライドさせたまま保持します。

②シールドのツメをシールドベースの穴にはめます。

③ロックレバーを離してシールドをロックします。

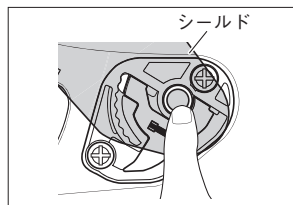
④シールドのツメ部分を押しえ付け、ツメを奥まで押し込みます。

⑤シールドを繰り返し開閉し、確実に取り付けられているか確認します。

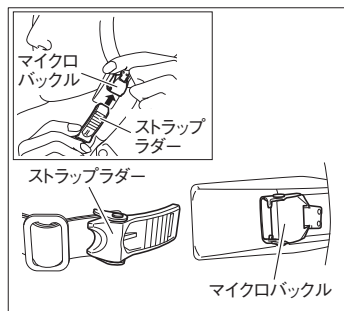
⚠ 警告

ツメがシールドベースにはまっていなくて、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

シールド取り付け後は、シールドの開閉作業を数回繰り返し、ツメが確実にハマっていることを確認してください。



■ あごひもの留めかた



- ①マイクロバックルとストラップラダーの裏表を確認します。
- ②マイクロバックルにストラップラダーがかみ合うまで差し込みます。

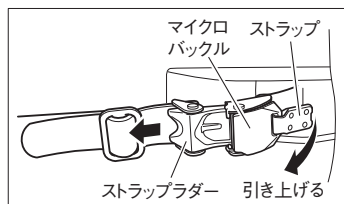
⚠ 警告

あごひもは確実に留めてください。留められていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。

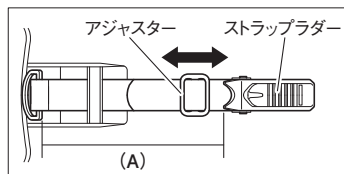
要 点

あごとあごひものすき間は、指が1本入る程度が適当です。

■ あごひもの外しかたと調節



- あごひもの取り外し
マイクロバックルのストラップを矢印の方向へ引き上げ、ストラップラダーを引き抜きます。



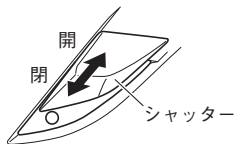
- あごひもの調節
ストラップラダー部のあごひもを緩め、アジャスターをスライドさせて(A)の長さを調節します。

⚠ 警告

- 走行前にあごひもを引っ張り、確実に固定されているか確認してください。固定されていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。
- 走行中にあごひもの脱着や調節をしないでください。運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

■ トップベンチレーションの開閉方法

<ヘルメット上部>

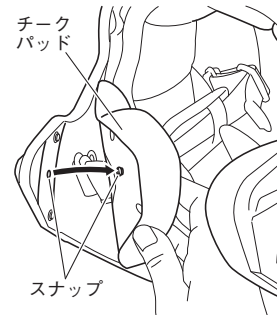


開けるときは、ベンチレーション上部のシャッターを後ろ側にスライドさせます。空気の入る量は2段階で調節できます。閉めるときは、シャッターを前側にスライドさせます。

注意

開閉方向以外の向きに無理な力をかけないでください。ベンチレーションが破損する恐れがあります。

■ 内装の取り外し(1/2)



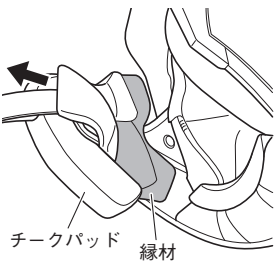
要点

内装（コンフォートライナー及びチークパッド）は取り外すことができます。

- 別売りの厚みの違う内装を装着することで最適なフィッティングを実現できます。（15ページ参照）
- 内装を取り外し洗うことで内装を清潔に保つことができます。（内装の取扱方法は5ページ参照）

● チークパッドの取り外し

- ① ヘルメットを押さえながらチークパッドのスナップを外します。
- ② チークパッドの縁材を引き抜きます。



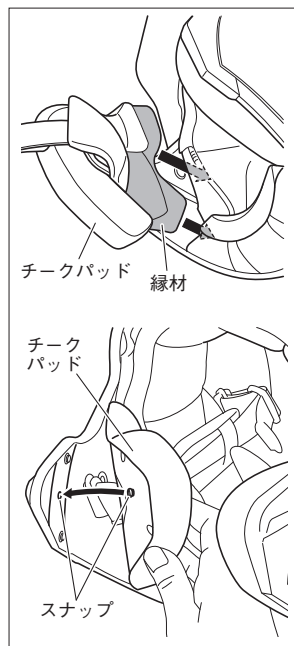
■ 内装の取り外し(2/2)



● コンフォートライナーの取り外し

- ① コンフォートライナーの縁材の両端を引き抜きます。（イラスト吹き出し参照）
- ② 前側のツメ（5ヶ所）と後側のスナップ（2ヶ所）を外し、コンフォートライナーをヘルメット本体内部から抜き取ります。

■ 内装の取り付け(1/2)



● チークパッドの取り付け

- ① 左右いずれのチークパッドか確認し、チークパッドの孔にあごひもを通します。
- ② 縁材をシェルとライナーの間に差し込みます。
- ③ チークパッドのスナップを合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

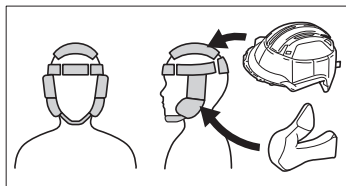
■ 内装の取り付け(2/2)



● コンフォートライナーの取り付け

- ① コンフォートライナーの前後を確認し、ヘルメット本体内部に入れます。
- ② コンフォートライナーの縁材の両端を、ライナーのすき間に差し込みます。(イラストの吹き出し参照)
- ③ 前側のコンフォートライナーは、縁材のツメ(5ヶ所)をヘルメットの孔に差し込みます。
- ④ 後ろ側のコンフォートライナーは、スナップ(2ヶ所)を合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

■ 内装の互換性について



YJ-Vの内装はお客様購入時はふつうサイズが装着されていますが、別売りのコンフォートライナーとチークパッドを装着すると、お客様の頭のカタチや好みに細かく対応でき、最適なフィッティングを実現できます。

内装互換性 (XS/S)

サイズ	XS			S			互換性
	ゆるめ	ふつう	きつめ	ゆるめ	ふつう	きつめ	
フィット感							
コンフォートライナー 厚み (mm)	12	15	18	9	12	15	XSとSサイズ間で4種類のライナー互換性があります。
チークパッド 厚み (mm)	35	40	45	30	35	40	XS~XXL (全サイズ) で5種類のパッド互換性があります。

内装互換性 (M/L)

サイズ	M			L			互換性
	ゆるめ	ふつう	きつめ	ゆるめ	ふつう	きつめ	
フィット感							
コンフォートライナー 厚み (mm)	9	12	15	7	9	12	MとLサイズ間で4種類のライナー互換性があります。
チークパッド 厚み (mm)	35	40	45	30	35	40	XS~XXL (全サイズ) で5種類のパッド互換性があります。

内装互換性 (XL/XXL)

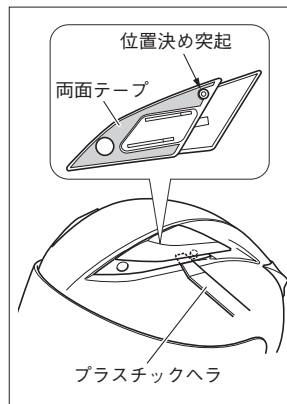
カスタマーサイズ	XL			XXL			互換性
	ゆるめ	ふつう	きつめ	ゆるめ	ふつう	きつめ	
フィット感							
コンフォートライナー 厚み (mm)	9	12	15	7	9	12	XLとXXLサイズ間で4種類のライナー互換性があります。
チークパッド 厚み (mm)	30	35	40	25	30	35	XS~XXL (全サイズ) で5種類のパッド互換性があります。

※詳細についてはワイズギアホームページを参照ください。

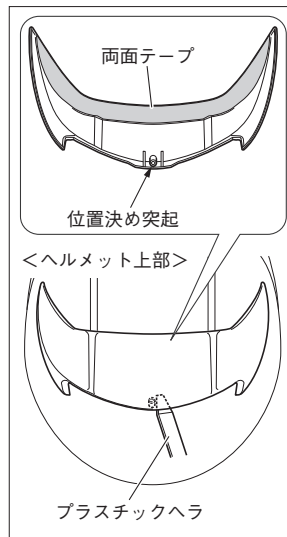


ワイズギアホームページ>>>

■ ベンチレーション(補修部品)の交換(1/2)

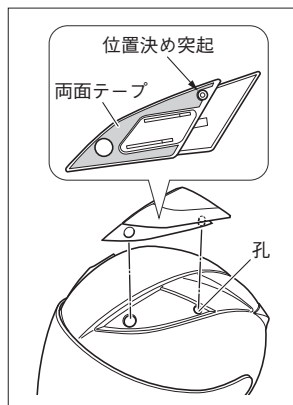


- トップベンチレーションの取り外し
トップベンチレーションはイラストの位置で両面テープによって取り付けられています。位置決め突起近くにプラスチックヘラを差し込んですき間を作り、すき間に指を入れてベンチレーションをはがし取りします。

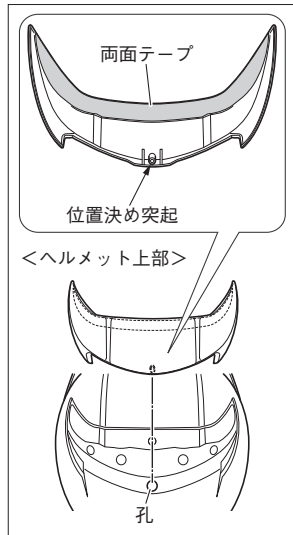


- リアベンチレーションの取り外し
リアベンチレーションはイラストの位置で両面テープによって取り付けられています。位置決め突起近くの孔に指またはプラスチックヘラを入れてベンチレーションをはがし取りします。

■ ベンチレーション(補修部品)の交換(2/2)

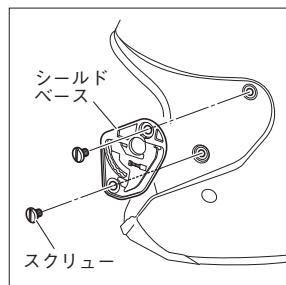


- トップベンチレーションの取り付け
- ① 取付面の汚れや油脂を除去します。
- ② 両面テープの保護紙をはがします。
- ③ ベンチレーションの位置決め突起とヘルメットの孔を合わせ、貼り付けます。



- リアベンチレーションの取り付け
- ① 取付面の汚れや油脂を除去します。
- ② 両面テープの保護紙をはがします。
- ③ ベンチレーションの位置決め突起とヘルメットの孔を合わせ、貼り付けます。

■ シールドベース(補修部品)の交換



- シールドベースの取り外し
マイナスドライバーを使用してスクリュー(片側2ヶ所)を外し、シールドベースを取り外します。
- シールドベースの取り付け
シールドベースをヘルメット側面にスクリューで固定します。(片側2ヶ所)